

●チャリティー・コンサート ●半世紀（反省期）

日本に到着してから、すでに3週間が過ぎました。時の早さに驚いています。私は、何と最近になって、やっと時差ボケから解放されたところです。場合によっては、時差に何の問題もない時もあるのですが、今回は体調を整えるのに時間を要しました。

今、3つのコンサートを終えたところです。

10月23日の神楽町教会でのコンサートでは、130名の来場者中、20名近くの方が、アンケート用紙の「イエス様を信じたい」の欄にマルを付けられました。その中には、子どもも含まれていました。その方々の真の救いと、これからのキリストにある歩みを、心から祈ります。



10.25 チャリティー・コンサート



チロリンと



ホセさん（フラメンコ・ギター）



純子さん（シンセ）



野田さん（ピアノ）



演奏者一同

10月25日のルーマニアの孤児、貧民、水害被害者のためのチャリティー・コンサートには、210名ほどの方がお集まりくださり、会場は一杯になりました。入場券の他に、沢山の特別献金も捧げられました。このコンサートのために、多大なご協力をくださった皆様に、この場をお借りして、心からお礼を申し上げます！そして、前日、夜の11時まで一生懸命音合わせをしてくださった野田さん、ホセさん、純子さん、チロリン（田中裕子さん）、ほんとうにありがとうございました。皆さんは、素晴らしいミュージシャンであると同時に、共に主を見上げ賛美するキリストにある友です。

●半世紀（反省期）

ところで私は、今年の10月13日で50歳になりました。主は半世紀も私を導いて来てくださったのだ、と思うと、感慨深いものがあります。今ほど幸いな時はありませんし、主は、さらに私の内側を満たしていってくださるでしょう。でも、これからのこの地上の人生が今までの人生より短

く、身体ももどンドン衰えてゆくことを考えたとき、これからは、もう無駄な労力は一切するまい、と思いました。

そこで、ふたつの「しないこと」を決心しました。ひとつは、「イエス・キリストのため以外のことはしない」、もうひとつは、「心から出てくる言動以外はしない」ことです。

ドイツでの伝道師時代、私を救いに導いてくれた宣教師ご夫妻が、よくこう言いました。「アツコ、あなたがどんなにがんばっても、イエス・キリストのためでなければ、何も意味がないのですよ。」あの頃は、「もちろん、私はすべてをイエス・キリストのためにやっています。」と大言壮語したものです。しかし、今振り返ってみると、あのがんばりの陰には、人に評価されたい、という思いがありました。そして、それが評価されず、ましてやとんでもない誤解を招いた時には、失意落胆し、鬱状態に陥ったことさえありました。

あれから、主の愛と憐れみによって、私は変えられてきました。人の評価というものは、ほとんど気にならなくなりました。それどころか、悪評をいただいたり、理解されない時にも主への感謝と喜びは変わりません。むしろそういったことに、いくら心を痛めながらも、主にあって喜べる自分を発見し、このような今をととても感謝しています。

最後に、私が50歳になってのもうひとつの決心があります。それは、「主のみこころと私がひとつになってゆく」ということです。主との交わりが深められてゆくなかで、それが、私が今一番求めていることです。

---

●11月のコンサートのためにお祈りください。そして、近くにお住まいの方、どうぞ、お知り合いをお誘いの上、ぜひコンサートにお越しください！

11月 5日(土) 高槻福音自由教会 チャーチコンサート 14:00~15:30

お問い合わせ：教会：072-685-6632

11月13日(日) 兵庫県、能勢川キリスト教会 工藤篤子ソプラノリサイタル

15:00~16:30 お問い合わせ：教会 072-737-0645

11月16日(水) レディスランチオンとちぎ 10:30~13:30 会場：宇都宮グランドホテル

チケット 3500円 お問い合わせ：渡辺明美さん 0296-25-3286

11月19日(土) 浅草橋教会 工藤篤子・兎束沙枝ジョイント・コンサート

「秋のチャペル・コンサート」18:30~ 連絡先：教会 03-3851-3746

11月20日(日) 淀橋教会 工藤篤子・兎束沙枝ジョイント・チャリティー・コンサート

(長野県「駒ヶ根パノラマ愛の家」のため) 15:00 開演、お問い合わせ：

教会 Tel.03-3368-9165

11月26日(土) 枚方希望教会 チャペルコンサート 13:30~15:30

Tel 072-856-1500 867-5826

---

大阪も朝夕、ずいぶん肌寒くなってまいりました。どうぞお風邪を召ませぬよう、お気をつけください。

主の恵みが、皆様と共にありますように！

工藤篤子